

決算報告書

第3期（平成29年9月期）

自 平成28年10月1日
至 平成29年9月30日

一般社団法人 日本新生児成育医学会

貸借対照表

平成 29 年 9 月 30 日 現在

一般社団法人 日本新生児成育医学会

(単位: 円)

I 資 産 の 部

【流動資産】

現金及び預金	91,539,738	
未収会費	3,015,000	
貯蔵品	85,974	
流動資産合計		94,640,712
資産合計		94,640,712

II 負 債 の 部

【流動負債】

未払金	236,224	
前受収益	33,695,406	
預り金	2,555	
未払法人税等	563,400	
流動負債合計		34,497,585
負債合計		34,497,585

III 正 味 財 産 の 部

正味財産合計	60,143,127
負債及び正味財産合計	94,640,712

正味財産増減計算書

自 平成 28 年 10 月 1 日
至 平成 29 年 9 月 30 日

一般社団法人 日本新生児成育医学会

(単位：円)

I 一般正味財産増減の部

[経常収益]

【受取会費】		
年会費収入	22,816,000	
評議員会費収入	1,145,000	
		23,961,000
【事業収益】		
セミナー事業収入	560,000	
雑誌刊行協力金収入	264,384	
論文掲載収入	645,000	
学会誌文献利用収入	35,295	
協賛金	2,000,000	
總會収入	59,878,400	
		63,383,079
【受取寄付金】		
寄付金収入	533,446	
		533,446
【雑収益】		
受取利息	656	
雑収入	247,191	
		247,847
経常収益 計		88,125,372

[経常費用]

【事業費】		
初期研修医・教育セミナー費	7,001,883	
委員会活動費	846,165	
海外交流費	100,000	
雑誌刊行費	11,837,181	
佐多フェロシッパ® 支援金	500,000	
總會費用	55,360,485	
賞金	200,000	
手数料	15,012	
Travel Awards	700,000	
若手新生児科医フェロシッパ®	520,000	
寄付金	1,611,254	
		78,691,980
【管理費】		
会議費	427,544	
旅費交通費	93,074	
通信費	830,853	
消耗品費	446,876	
学会HP作成・更新費	589,063	
事務局委託費	6,296,400	
公認会計士委託費	310,500	
司法書士委託費	37,832	
銀行振込手数料	50,510	
クレジット決済手数料	411,117	
租税公課	10,577	
マイナンバー管理代行費	13,132	
雑費	28,230	
		9,545,708

経常費用 計	88,237,688
当期一般正味財産増減額	△ 112,316
法人税、住民税及び事業税	563,400
一般正味財産期首残高	60,818,843
一般正味財産期末残高	60,143,127

個別注記表

自 平成 28 年 10 月 1 日
至 平成 29 年 9 月 30 日

一般社団法人 日本新生児成育医学会

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 棚卸資産の評価方法
最終仕入原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (4) 引当金の計上基準
該当なし
- (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税免税事業者該当。
消費税等の会計処理は税込方式によっております。

以上

財産目録
平成29年9月30日現在

一般社団法人 日本新生児成育医学会
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
三菱東京UFJ銀行普通預金	1,266,427		
三井住友銀行普通預金	5,579,084		
りそな銀行普通預金	15,414,616		
りそな銀行普通預金（総会事務局）	38,365,451		
郵便局振替口座	30,914,160		
		91,539,738	
未収会費			
平成29年度分年会費	3,000,000		
平成29年度分評議員会費	15,000		
		3,015,000	
貯蔵品			
学会誌29巻1号	83,265		
学会誌29巻2号	2,709		
		85,974	
流動資産合計			94,640,712
資産合計			94,640,712
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金			
通信費	16,657		
消耗品費	14,367		
公認会計士委託費	205,200		
前受収益		236,224	
第62回総会収入	33,365,406		
平成30年度以降会費	330,000		
預り金		33,695,406	
源泉所得税預り金	2,555		
		2,555	
未払法人税等	563,400		
		563,400	
流動負債合計			34,497,585
負債合計			34,497,585
正味財産			60,143,127

（社）日本新生児成育医学会決算報告
平成29年9月期（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

I. 一般会計

（単位：円、△減）			
歳入の部			
科 目	H28.10月1日～H29.9月30日 平成29年度予算	H28.10月1日～H29.9月30日 平成29年度決算	増 減
1. 年会費	21,152,000	22,816,000	1,664,000
2. 評議員会費	1,145,000	1,145,000	0
3. セミナー参加費	600,000	560,000	△ 40,000
4. 預金利息	3,000	142	△ 2,858
5. 雑誌刊行協力費	350,000	264,384	△ 85,616
6. 論文掲載料	600,000	645,000	45,000
7. 学会誌文献利用料	30,000	35,295	5,295
8. 協賛金	2,000,000	2,000,000	0
9. 雑収入	350,000	247,191	△ 102,809
10. 前年度繰越金	36,251,550	36,251,550	0
収 入 合 計	62,481,550	63,964,562	1,483,012

＊当期歳入予定額（1-9）： 27,713,012 円

（単位：円、▲増）			
歳出の部			
科 目	H28.10月1日～H29.9月30日 平成29年度予算	H28.10月1日～H29.9月30日 平成29年度決算	増 減
1. 雑誌刊行費	11,420,000	11,837,181	▲ 417,181
編集・印刷費	10,200,000	10,656,026	▲ 456,026
発送費	950,000	978,724	▲ 28,724
英文抄録校正	70,000	56,631	13,369
査読・著者校正通信費	200,000	145,800	54,200
2. 管理・事務費	10,218,800	9,513,646	705,154
会議費（理事会・評議員会）	850,000	427,544	422,456
事務局委託費	6,328,800	6,296,400	32,400
通信費	800,000	830,411	▲ 30,411
消耗品費	400,000	446,876	▲ 46,876
備品費	200,000	0	200,000
旅費・交通費	400,000	93,074	306,926
銀行振込手数料	30,000	47,196	▲ 17,196
マイナンバー管理代行費	0	13,132	▲ 13,132
クレジット決済手数料	0	411,117	▲ 411,117
学会ホームページ作成・更新費	1,000,000	589,063	410,937
司法書士委託費	0	37,832	▲ 37,832
公認会計士委託費	210,000	310,500	▲ 100,500
租税公課	0	10,501	▲ 10,501
3. 事業費	10,100,000	9,168,048	931,952
医学生セミナー・教育セミナー	7,000,000	7,001,883	▲ 1,883
委員会活動費	1,000,000	846,165	153,835
海外交流費	100,000	100,000	0
Travel Awards	0	700,000	▲ 700,000
若手新生児科医フェローシップ	2,000,000	520,000	1,480,000
4. 雑費	1,000,000	28,230	971,770
5. 法人税等	0	563,400	▲ 563,400
6. 次年度繰越金	29,742,750	32,854,057	▲ 3,111,307
支 出 合 計	62,481,550	63,964,562	▲ 1,483,012

＊当期歳出（1-5）： 31,110,505 円

平成29年度決算明細

【歳 入】

1	会費	（詳細下記）
2	評議員会費	5,000円×229名＝1,145,000円を計上
3	セミナー参加費	教育委員会主催の教育セミナー参加費
4	預金利息	学会収入金の預金利息
5	雑誌刊行協力費	学会雑誌の広告掲載料
6	論文掲載料	学会雑誌の頁数超過料金および論文別刷追加料金
7	学会誌文献利用料	メテオ、医学中央雑誌刊行会より文献利用料の支払い
8	協賛金	アップヴィ合同会社
9	雑収入	学会雑誌販売代金、熊本震災派遣時保険料返戻金（損保ジャパン）
10	学術集会の法人税負担分	学術集会で発生した法人税
11	学術集会の消費税負担分	学術集会で発生した消費税
12	学術集会の源泉税負担分	学術集会で発生した源泉税

平成29年度会費収入内訳
会費

年 度	単 価	人 数	金 額	
平 成 25 年 度 以 前	8,000	4	32,000	
平 成 26 年 度 分	8,000	5	40,000	
平 成 27 年 度 分	8,000	23	184,000	
平 成 28 年 度 分	8,000	189	1,512,000	
平 成 28 年 度 分	-8,000	248	-1,984,000	前期末収計上
平 成 29 年 度 分	8,000	2,466	19,728,000	
平 成 29 年 度 分	8,000	38	304,000	前期前受計上
平 成 29 年 度 分	8,000	375	3,000,000	当期未収計上
合 計		3,348	22,816,000	
平 成 28 年 評 議 員 費	-5,000	1	-5,000	前期末収計上
平 成 28 年 評 議 員 費	5,000	1	5,000	
平 成 29 年 評 議 員 費	5,000	223	1,115,000	当期未収計上
平 成 29 年 評 議 員 費	5,000	3	15,000	前期前受計上
平 成 29 年 評 議 員 費	5,000	3	15,000	
合 計		231	1,145,000	

【歳 出】

1	雑誌刊行費	学会誌の制作・刊行に係わる費用（印刷費・発送費および編集費、英文抄録の校正費、査読・著者校正通信費は著者・査読者・広告会社への連絡に係わる郵送料）
2	管理・事務費	（詳細別紙） 会議費： 理事会・評議員会開催に係わる費用 事務局委託費： メディカ出版への事務局委託費 通信費： 会員への事務連絡の郵便代金、電話、宅急便代 消耗品費： 学会封筒、ラベルシール、用紙・コピー代 パソコンソフト、その他文具OA用品等 備品費： 印刷作成費を計上 旅費・交通費： 学会公務のための交通費 理事会・総会時の事務職員の交通費および宿泊費 振込手数料： 学会ホームページ作成・更新費：ホームページリニューアル・更新に係わる費用 公認会計士委託費： 顧問会計士事務所への顧問報酬・出張費等の支払い 租税公課 源泉税等
3	事業費	初期研修医・教育セミナー： 初期研修医・教育委員会主催の教育セミナー開催費、事務費、交通費、通信費 委員会活動費： 各種委員会活動に係わる事務費 海外交流費： 韓国新生児学会からの招待演者の交通費 Travel Awards 選出者7名の渡航費用 若手新生児科医フェローシップ 選出者の学術集会参加費用等 熊本医師派遣 傷害保険加入費
4	予備費	
5	法人税	
次年度繰越金		歳入の合計 - 当期支出 = 次年度繰越金 63,964,562 - 31,110,505 = 32,854,057

Ⅱ. 平成29年度特別会計

1. 学会賞基金

【歳入】		
科目	内訳	収入
前年度繰越金（普通）	平成28年9月30日まで	5,794,265
預金利息		55
合計		5,794,320

【歳出】	
科目	支出
賞金	200,000
筆耕代	15,012
租税公課（預金利息に係る所得税）	8
振込手数料	216
次年度繰越金	5,579,084
合計	5,794,320

* 当期支出：215,236 円
* 次年度繰越金：5,579,084 円

2. 佐多フェローシップ

○ 収入	
（株）東機貿より寄付金	500,000 円
○ 支出	
選考された1名への留学補助金	500,000 円

3. 総会補助金

【歳入】		
科目	内訳	収入
前年度繰越金（普通）	平成28年9月30日まで	13,768,879
寄付（印税）		33,446
第61回学術集会からの繰り入れ		6,613,271
預金利息		117
合計		20,415,713

【歳出】	
科目	支出
第62回学術集会事務局	5,000,000
租税公課（預金利息に係る所得税）	17
振込手数料	1,080
次年度繰越金	15,414,616
合計	20,415,713
* 当期支出：	5,001,097 円
* 次年度繰越金：普通預金	15,414,616 円

監査報告書

平成29年10月9日

一般社団法人 日本新生児成育医学会
理事長 楠田 聡 殿

監事 北島博之 

私は、一般社団法人日本新生児成育医学会の平成28年10月1日から平成29年9月30日までの第3期事業年度の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な関係書類の閲覧等を行って、業務および財産の状況を調査いたしました。

また、事業報告書並びに会計帳簿の調査や関連する証憑書類の査閲等を行い、当該事業年度に係わる計算書類、すなわち貸借対照表及び正味財産増減計算書、財産目録について監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関して、不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監査報告書

平成29年10月5日

一般社団法人 日本新生児成育医学会
理事長 楠田 聡 殿

監事

猪俣 泰史 

私は、一般社団法人日本新生児成育医学会の平成28年10月1日から平成29年9月30日までの第3期事業年度の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な関係書類の閲覧等を行って、業務および財産の状況を調査いたしました。

また、事業報告書並びに会計帳簿の調査や関連する証憑書類の査閲等を行い、当該事業年度に係わる計算書類、すなわち貸借対照表及び正味財産増減計算書、財産目録について監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関して、不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

平成29年9月期（平成28年10月1日～平成29年9月30日）事業報告書

目 的

新生児医療の向上、発展をはかるとともに新生児学の研究を促し、会員相互の交流を促進し、新生児医療の充実を通じて、子どもの健康、人権および福祉の向上、さらにこれらを社会へ普及啓発することを目的とする。

事 業

上記の目的を達成するため、次の事業を行った。

- ①新生児医療の研究および振興を目的とする事業
- ②新生児医療に携わる医療者の教育および専門性の向上を目的とする事業
- ③新生児医療に関わる改善を目的とする事業
- ④新生児医療の社会への普及啓発および還元を目的とする事業
- ⑤国内外の関係団体との協力活動を目的とする事業
- ⑥その他前条の目的達成するために必要な事業

個別の事業

1. 機関誌

日本新生児成育医学会雑誌第28巻3号を11月16日、第29巻1号を2月15日、2号を6月15日に刊行した。

2. 初期研修医向けセミナー

初期研修医に役立つ新生児医療の最新必須知識の啓発を目的として、第4回医学生・研修医向けNICU入門セミナープログラムを平成29年5月20日（土）午後から5月21日（日）午前までの1泊2日でニチイ学館 神戸ポートアイランドセンターにて行った。

3. 教育セミナー

若手医師の臨床能力と臨床研究能力の向上、中堅医師の指導者としての役割を果たす能力をつけることを目的として、第21回日本新生児成育医学会セミナーを平成29年8月24日（木）午後から8月26日（土）夕方までの2泊3日で、岐阜グランドホテルにて行った。

4. 委員会

本学会が目的とする事業を達成するため、下記委員会において調査研究、学術集会・セミナー等の開催、機関誌の発行、関係機関に対する要望・協議、新生児医学・医療に関する情報発信、提言作成、その他について検討した。

- ・感染対策委員会
- ・倫理委員会
- ・学会誌編集委員会
- ・学会将来構想委員会
- ・医療の標準化委員会
- ・広報委員会
- ・国際渉外委員会
- ・災害対策委員会
- ・医療の質向上委員会

- ・教育委員会
- ・診療委員会
- ・医療安全委員会
- ・男女共同参画推進委員会

5. 本学会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医学・医療関係団体との協力、協議、を行った。

6. 表 彰

本学会雑誌に掲載された原著論文を対象とし平成28年度日本新生児成育医学会論文賞の選出を行った。また、本学会雑誌以外に掲載された原著論文を対象とし平成28年度日本新生児成育医学会学術奨励賞の選出を行った。学術集会にて表彰を行う。

7. 理事会

平成28年度第3回理事会を平成28年11月30日（水）15：00～18：00 大阪大学中之島センター「講義室301」にて開催し、新理事会を平成28年12月1日（木）13：40～14：10 大阪国際会議場7階701にて行った。

平成29年は4月14日（金）11：00～13：00 TKP品川カンファレンスセンター カンファレンスルーム4G、7月17日（月）11：00～13：30 ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 1F パールにて開催した。

以上

(社) 日本新生児成育医学会予算
平成30年9月期 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

一般会計

(単位：円、△減)			
歳入の部			
科 目	H28. 10月1日～H29. 9月30日 平成29年9月期予算	H29. 10月1日～H30. 9月30日 平成30年9月期予算	増 減
1. 年会費	21, 152, 000	20, 960, 000	△ 192, 000
2. 評議員会費	1, 145, 000	1, 140, 000	△ 5, 000
3. セミナー参加費	600, 000	600, 000	0
4. 預金利息	3, 000	3, 000	0
5. 雑誌刊行協力費	350, 000	350, 000	0
6. 論文掲載料	600, 000	600, 000	0
7. 学会誌文獻利用料	30, 000	30, 000	0
8. 協賛金	2, 000, 000	2, 000, 000	0
9. 雑収入	350, 000	350, 000	0
1 0. 学術集会の法人税負担分	0	600, 000	600, 000
1 1. 学術集会の消費税負担分	0	300, 000	300, 000
1 2. 前年度繰越金	36, 251, 550	32, 854, 057	△ 3, 397, 493
収 入 合 計	62, 481, 550	59, 787, 057	△ 3, 594, 493
※当期歳入予定額 (1～11) :			
26, 933, 000			

(単位：円、▲増)			
歳出の部			
科 目	H28. 10月1日～H29. 9月30日 平成29年9月期予算	H29. 10月1日～H30. 9月30日 平成30年9月期予算	増 減
1. 雑誌刊行費	11, 420, 000	11, 820, 000	▲ 400, 000
編集・印刷費	10, 200, 000	10, 650, 000	▲ 450, 000
発送費	950, 000	950, 000	0
英文抄録校正費	70, 000	70, 000	0
査読・著者校正通信費	200, 000	150, 000	50, 000
2. 管理・事務費	10, 218, 800	11, 189, 800	▲ 971, 000
会議費 (理事会・評議員会)	850, 000	850, 000	0
事務局委託費	6, 328, 800	6, 328, 800	0
通信費	850, 000	850, 000	▲ 50, 000
消耗品費	400, 000	450, 000	▲ 50, 000
備品費	200, 000	200, 000	0
旅費・交通費	400, 000	300, 000	100, 000
銀行振込手数料	30, 000	35, 000	▲ 5, 000
マイナンバー管理代行費	0	15, 000	▲ 15, 000
クレジット決済手数料	0	500, 000	▲ 500, 000
学会ホームページ作成・更新費	1, 000, 000	1, 000, 000	0
公認会計士委託費	210, 000	660, 000	▲ 450, 000
租税公課	0	1, 000	▲ 1, 000
3. 事業費	10, 100, 000	9, 800, 000	300, 000
医学生セミナー・教育セミナー	7, 000, 000	6, 000, 000	1, 000, 000
委員会活動費	1, 000, 000	1, 000, 000	0
海外交流費	100, 000	100, 000	0
Travel Awards	0	700, 000	▲ 700, 000
若手新生児科医フェローシップ	2, 000, 000	2, 000, 000	0
4. 予備費	1, 000, 000	1, 000, 000	0
5. 法人税	0	600, 000	▲ 600, 000
6. 消費税	0	300, 000	▲ 300, 000
7. 次年度繰越金	29, 742, 750	25, 077, 257	4, 665, 493
支 出 合 計	62, 481, 550	59, 787, 057	2, 694, 493
※当期歳出予定額 (1～6) :			
34, 709, 800			

一般会計明細

- 歳入の部
1. 年会費
年会費は、今までの実績より会員の約80%より徴収できるものとして算出
当年度会費 会員約2,900人×8,000円×80% = 18,560,000
過年度分会費 300人として計算 = 2,400,000
合計 20,960,000 円
2. 評議員会費： 5,000円×228名＝1,140,000円を計上
3. セミナー参加費： 教育セミナー参加費 (10,000円×60人)
4. 預金利息： 一般会計の預金利息
5. 雑誌刊行協力費： 学会雑誌 (1号・2号) の広告掲載料
6. 論文掲載料： 投稿規定より頁数および別刷り数の超過した分の料金
7. 学会誌文獻利用料： メテオ、医学中央雑誌より利用料の支払い
8. 協賛金： 学会誌販売代金など
9. 雑収入： 学会誌販売代金など
1 0. 学術集会からの法人税負担分： 学術集会開催時の法人税
1 1. 学術集会からの消費税負担分： 学術集会開催時の消費税
1 2. 前年度繰越金 平成29年度9月30日繰越金額を充当

歳出の部

1. 雑誌刊行費： *年に3回刊行予定					
	編集・印刷費	発送費	査読・著者校正通信費	英文抄録校正	合計
3 号	4,350,000	350,000	0	0	4,700,000
1 号	3,700,000	300,000	75,000	35,000	4,110,000
2 号	2,600,000	300,000	75,000	35,000	3,010,000
合 計	10,650,000	950,000	150,000	70,000	11,820,000

- ◆査読・著者校正通信費はおもに査読に要する郵送代
◆印刷費見積もりは前年度と同じ頁数で見積もり
2. 管理・事務費：会議費 (理事会・評議員会開催に要する費用)、給与手当 (メディカ出版への事務局委託費)
通信費、消耗品費、備品費、旅費・交通費 (理事会・学会時事務職員の旅費)
銀行振込手数料、学会ホームページ作成・更新費、租税公課
3. 事業費：教育セミナー (開催費：会場費、講師・チューター交通費、消耗品、郵送代など)
委員会活動費 (各種委員会活動に要する費用・委員会開催費)
海外交流費 (海外からの招待演者交通費)
4. 予備費
5. 法人税
6. 消費税
7. 次年度繰越金：
次年度繰越金 = (歳入合計 - 1から6までの歳出合計)
25,077,257 = 59,787,057 - 34,709,800

特別会計明細

1. 学会賞基金
- 【歳入】
- | 内 訳 | 金 額 | 備 考 |
|--------|-----------|---------------|
| 積立額現在高 | 5,579,061 | 三井住友銀行 (普通預金) |
| 合 計 | 5,579,061 | |
- 【歳出】
- | 内 訳 | 金 額 | 備 考 |
|---------|-----------|------------------|
| 賞 金 | 200,000 | 1名10万円 (論文賞・奨励賞) |
| 賞状等 | 20,000 | |
| 振込手数料 | 864 | |
| 合 計 | 220,864 | |
| 次年度繰越金： | 5,358,197 | |
2. 佐多フェローシップ
- 【歳入】
- 関東機質より寄付金 500,000
- 【歳出】
- 選考された1名への留学補助金 500,000
3. 総会補助金
- 【歳入】
- | 内 訳 | 金 額 | 備 考 |
|--------|------------|--------------|
| 積立額現在高 | 15,414,572 | りそな銀行 (普通預金) |
| 合 計 | 15,414,572 | |
- 【歳出】
- | 内 訳 | 金 額 | 備 考 |
|---------|------------|--------------|
| 総会準備金 | 5,000,000 | 第63回学術集会事務局へ |
| 振込手数料 | 864 | |
| 合 計 | 5,000,864 | |
| 次年度繰越金： | 10,413,708 | |

平成30年9月期（平成29年10月1日～平成30年9月30日）事業計画書

目 的

新生児医療の向上、発展をはかるとともに新生児学の研究を促し、会員相互の交流を促進し、新生児医療の充実を通じて、子どもの健康、人権および福祉の向上、さらにこれらを社会へ普及啓発することを目的とする。

事 業

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①新生児医療の研究および振興を目的とする事業
- ②新生児医療に携わる医療者の教育および専門性の向上を目的とする事業
- ③新生児医療に関わる改善を目的とする事業
- ④新生児医療の社会への普及啓発および還元を目的とする事業
- ⑤国内外の関係団体との協力活動を目的とする事業
- ⑥その他前条の目的達成するために必要な事業

個別の事業

1. 機関誌

日本新生児成育医学会雑誌第30巻第1・2号を2月、6月に発刊する（29巻3号は平成29年9月に刊行予定）。

2. 医学生・研修医向け NICU 入門セミナー

医学生や研修医に役立つ新生児医療の最新必須知識の啓発を目的として、第5回医学生・研修医向け NICU 入門セミナーを平成30年5月19日（土）～20日（日）の1泊2日で電気ビル共創館（福岡県博多市）にて行う。

3. 教育セミナー

若手医師の臨床能力と臨床研究能力の向上、ならびに中堅医師への指導者教育を目的として、第22回教育セミナーを平成30年8月23日（木）～25日（土）の2泊3日ではりでーゆ～四季の郷（長野県安曇野市）にて行う。

4. 委員会

本会が目的とする事業を達成するため、調査研究、学術集会・セミナー等の開催、機関誌の発行、関係機関に対する要望・協議、新生児医学・医療に関する情報発信、提言作成、その他について検討を行い、併せて組織の見直しを図るため、委員会・会議を開催する。

5. 他団体との協議

本会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医学・医療関係団体との協力、協議を行う。

6. 表 彰

本会の雑誌に掲載された原著論文を対象とし、日本新生児成育医学会賞の選出を行い学術集会にて表彰を行う。また、若手新生児科医フォローシップ事業を行う。

7. 理事会

理事会を10月、4月、7月に開催する（年間3回以上開催予定）。

2018 年 2 月 15 日

8. 総 会

平成 29 年 10 月 12 日 (木) 12:00 ～ 13:30 に定時社員総会を開催し、平成 29 年度決算ほかの議案について審議する。

9. 学術集会

第 62 回日本新生児成育医学会学術集会を平成 29 年 10 月 12 日 (木) ～ 14 日 (土) ソニックシティ (さいたま市) にて、側島久典 (埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター新生児科) 会長主宰により開催する。

10. 学会の公益法人化の準備

以上

資金調達及び設備投資の見込みについて
(平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

1. 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の見込みはありません。

2. 設備投資の見込みについて

当期中の設備投資の予定はありません。

以上